

乳腺エコー

乳腺エコーとは？

乳房に超音波をあて、内部からの反射波（エコー）を画像にして乳腺の状態を調べる検査です。超音波検査は乳腺の濃度に影響を受けませんので、乳腺が密な若い人にも適しているといわれます。乳腺の濃度に影響を受けるマンモグラフィでは発見しにくい 40 歳以下の若年性乳がんや石灰化を伴わない乳がんの発見に有用です。またマンモグラフィのように乳房を板で挟みつけることがないことから痛みも全くなく、被爆の可能性もありませんので安心です。

実際の検査は？

検査時間は15分～20分程度です。所見の程度により多少は異なります。

- ①腹部エコー検査室に入り、上半身の洋服を脱ぎます。
- ②ベッドに敷いているタオルにちょうど胸がのるように仰向けに寝ます。
- ③両腕はバンザイの状態で腕を上げます。
- ④超音波の通りをよくするために、乳房の表面にゼリーを塗ります。
- ⑤プローブを滑らすように動かして検査をします。
- ⑥終了しましたら、紙のシートと濡れタオルでゼリーを拭きます。

ご了承下さい

- ① 同じお部屋で10時までは腹部エコー検査を行っており、腹部エコー検査が終わるまでお待ち頂くことがあります。
- ② 査終了後は受付Bに戻り診察になりますが、所見によりまたは先生の必要に応じて診察時に超音波検査を再度行うことがあります。

